

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	1982
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.44, (1982. 12)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	白井浩司教授記念論文集
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-00440001--004

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

目次

第一部

アルジェリアを尋ねて……………	片桐邦郎……………	二
——カミュの「異邦人」の背景——		
『背徳者』の両義性……………	若林真……………	一三
——消去されたテキスト解説の試み——		
バルザック『アルシの代議士』をめぐる……	高山鉄男……………	三一
上田敏「うづまき」とスタンダール……………	古屋健三……………	四七
「異邦人を読む」……………	片山左京……………	六二
——ムルソオの自伝として——		
晩年のマラルメを読むために……………	立仙順朗……………	七九
——その美学と経済学をめぐる——		
一八一九年とバルザックの青年群像……………	西尾修……………	九八
『ノートルダム・ド・パリ』における石の詩学……………	小瀧昭夫……………	一〇五
——ピエール・パヴェ・パリ——		
<i>Prince des Sots</i> のこと……………	大浜甫……………	二九四
シロシオ O. V. de L. Milosz の詩のこと……………	小浜俊郎……………	二七七
——鍵と馬車と太陽——		

ディドロとメルシェ十八世紀パリ市民生活の断面	原	宏	二五四
——「ラモーの甥」の一節をめぐって——			
Le motif de la canne qui murmure	Hideichi Matsubara		二四〇
Antigone-trône	佐藤	眞	二二九
——La Thèbaïde の rimes 覚書——			
ブルーストの集団画	末木友和		二二四
Papillons et libellules	Akio Ushiba		二〇三
——Marcel Proust et Emile Gallé——			
「ダレカ十名詞句」について	川口順二		一八五
バルベリー・ドルヴィイーにおける「半開」の構造	金沢哲夫		一六八
シャルル・ペギーとアントナン・ラヴェルニユ	田代葆		一五五
——De «Jean Coste»——			
Notes sur les sourires proustiens	Junji Suzuki		一三六
第一部			二九五
蒲松齡と『聊齋志異』	村松	暎	二九六
遊女・萩・月	檜谷	昭彦	三〇五
芭蕉俳諧一掬			
英国中世劇成立の周辺	安東伸介		三二三

ヴァーラント『レディ・ヨハンナ・グレイ』……………宮下啓三……………三三五
最初に上演されたブランクヴァースによるドイツ創作戯曲

第三部……………三五三

横部得三郎 松原秀治 大久保洋海 二宮孝顕 遠藤周作 薩摩 忠 平田 敬

安倍 寧 浅利慶太 高橋昌男 石原 優 岡田隆彦 山口昌子 志村節子……………三五四

年譜(回想記風に)……………白井浩司……………三八四